



い い の し ょ う が っ こ う

飯野小学校だより

2022(令和4)年11月22日(火) No.20

第3回学校運営協議会が開催されました



11月15日(火)に第3回学校運営協議会を開催しました。前回と同様、各クラスの授業の様子を参観したのちに意見交換をおこないました。協議会で出された内容や意見は、下の表のようになります。

- 前回に比べて、子どもたちの声が大きくなった。自分の思いを出せるようになってきているように感じた。
- 子どもたちが、一生懸命授業に取り組んでいる。
- 端末を使っている授業が多く見られるようになった。
- ICT機器を活用することで、動画など目で確認することができるのは効果がある。
- 端末を活用した調べ学習と子どもたちの意見交換で次につながる授業になっていた。
- めあてをしっかりと持った授業をしている。
- 図工の授業で、子どもたちがのびのび活動していた。
- 修学旅行や運動会などの行事ができるようになって見通しを持って活動できるようになってきているのではないか。
- 学校として、職員が同じ方向を向いていろいろなことに取り組んでいることが子どもたちに伝わっているように感じる。雰囲気がいい。子どもたちのあいさつもできている。
- 今後も感染症対策をして活動をすすめていく。
- スマホなどの所持率が増えているので、家庭でのルール作りは必要である。家庭学習への影響など、子どもとしっかりとコミュニケーションをとっていくことも大切。
- ネットトラブルやいじめにつながるものの無いように今後も啓発していくことは大事。
- 県道バイパス新設工事に伴う信号機の設置要望は継続していく。
- 昇降口開錠時刻を10分程度遅らせることは、3学期からとし、近隣企業にも説明し、社員への交通安全意識の啓発をお願いする。

創徳中学校区拡大学校運営協議会が

開催されました



11月17日(木)に創徳中学校区の4校(創徳中・牧田小・清和小・飯野小)の学校運営協議会委員が清和公民館に集まり、初めての中学校区での学校運営協議会が行われました。

鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課の橋本伸清元校長を講師に「子どもたちの心のエネルギーを高めるために～子どもたちの現状をふまえて～」と題し、講演を

していたとともにその内容に沿って、28名の委員・教職員が、6つのグループに分かれて意見交換などを約1時間行いました。

いろいろなデータをもとに子どもたちの心の不調に関して、その原因、対処などについてお話しいただき、わたしたち「大人」にはどのような責任があるのか、何ができるのか、話し合いました。

また、同じく教育支援課の杉谷直俊コミュニティスクールアドバイザーもグループに入って意見交換していただくとともに、これからの学校運営協議会のあり方などについてあらためてお話しいただきました。

各校・各地区の現状や課題などを聞いたり話し合ったりすることで、創徳中学校区として連携して取り組めることはないか、市全体としても何か取り組んでいけることはないか、活発な熟議が各グループで行われていました。

今回の拡大学校運営協議会を契機に、今後も各校(園)がいろいろな場面で連携をとり、子どもたちのための様々な取組につながっていけば、と思います。

